
異能学園

タミ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異能学園

【Nコード】

N9015Y

【作者名】

タミ

【あらすじ】

変わった体質を持つ渡橋倫太郎は、普通の生活をしたいと願っていた。そんな彼が入学したのは輪海学園という学校。しかしそこは普通とはかけはなれた学校だった！

プロローグ(悪夢)(前書き)

どうもはじめまして

初めて小説を書くタミです

よかったです、いいのですが感想よろしくお願いします

プロローグ(悪夢)

「ねえリント」

え、何？

「いい加減にしなさいよ」

え？何が？

「いつになったら教えてくれるんですか？」

教える？何を？あといつ来たの

「あの・・・私も知りたいです」

だから何を、て言うか誰

「ウチも興味あるなあ」

増えた！？

「早く教えて〜抱き枕」

誰が抱き枕だつて！？

「リントロー、私も知りたいです」

外国人！？

「リント」

「倫太郎さん」

「倫太郎君」

「倫太ハン」

「抱き枕」

「リントロー」

こ、来ないで

「「「「「さあ！」「」「」「」

うわああああ」

プロローグ（現実）（前書き）

感想よろしくお願いします

プロローグ（現実）

「……え？」

僕、こと渡橋倫太郎わたはし りんたろうの頭の中は驚きと困惑でいっぱいだ。
なぜなら

「……何してるの？根音ねね」
「起こしに来ました」

妹の根音がベッドの横に立っていたからだ、それだけならいいむしろ嬉しい。

根音は酷い男嫌いで兄である僕や父さんとも必要最低限のことしか話さない、家族以外には挨拶さえしない位だ

そんな根音が僕を起こしにきたのだから嬉しくないはずがない、問題は

「何で…バット振りかぶってるの？」

問題は根音がバットを振りかぶって今にも降り下ろそうとしていたからだ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9015y/>

異能学園

2012年1月2日09時46分発行